

第 18 回 都市計画道路殿町羽田空港線ほか  
道路改築工事に関わる河川河口の環境アドバイザー会議  
(令和 5 年 9 月 29 日開催)

主な意見・指摘事項と対応について

1. 第 17 回アドバイザー会議 指摘事項の確認

意見・指摘事項	対応
特になし	-

2. 令和 5 年度事後調査計画について

意見・指摘事項	対応
特になし	-

3. 令和 5 年度定期環境モニタリング調査（春季）の結果について

意見・指摘事項	対応
<p>&lt;地形&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 水深が浅ければ、少しの波浪で一時的に水面下になるため干潟が分断されたように表現されるが、そのような状況であれば大きな問題ではない。今回の分断は一時的な現象かもしれないので、継続的な観察が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 調査時に干潟の地表が少しでも水面下になっていれば「分断」と扱っています。引き続き調査を行っていきます。</li> </ul>
<p>&lt;鳥類&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 種の生態によって差はあるものの、「1~5m 未満」の高さで通過する個体ももう少しでも良い気がする。今後も様子を見ていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 承知いたしました。引き続き橋梁部の通過高度について、特に低い高度の利用状況に留意して調査いたします。</li> </ul>
<p>&lt;底生生物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ORP の値は過疎地点の方が高いということとヨシに覆われるとヨシが酸素を消費し、ORP が下がりやすいことは言えそうである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 承知いたしました。今後ご指摘の点に留意し、調査結果をとりまとめます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 全般的に言えることだが、調査手法の性質上、同じ地点もしくは地点間における種構成や生息密度の詳細な比較・評価は困難である。あくまで経年的な種構成の大まかな長期的な変化をみていく程度で考えた方が良い。</li> <li>◆ 結果のとりまとめについては、「干潟として現れる場所」と「そうでは無い場所」で分けて考えてみると良い。</li> <li>◆ 今回の確認状況全体としては、種構成や種数等変動の範囲内であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 承知いたしました。今後ご指摘の点に留意し、調査結果をとりまとめます。</li> </ul>

第 18 回 都市計画道路殿町羽田空港線ほか  
道路改築工事に関わる河川河口の環境アドバイザー会議  
(令和 5 年 9 月 29 日開催)

3. 令和 4 年度定期環境モニタリング調査（春季）の結果について（続き）

意見・指摘事項	対応
<p>&lt;底生生物&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 例えば、航路に近い 4-2-C-1 では夏季に貧酸素状態になるため、秋季ではまだ個体数が少ないままで、春季になると種数が多くなるような傾向がありそうである。</li> <li>◆ また、航路付近の地点よりも、4-2-L-1 などの右・左岸の干潟の地点に着目して考察した方が良いと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 承知いたしました。今後ご指摘の点に留意し、調査結果をとりまとめます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 工事開始前のアセス時のデータを含めた経年変化を示せると良い。その際、地点数等が年によって異なることを踏まえ、あるエリア内に着目する等、とりまとめの上では工夫して貰いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 承知いたしました。年によって調査地点数等が異なるため、ご指摘を踏まえてとりまとめ方法を工夫いたします。</li> </ul>
<p>&lt;底質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 上流での浚渫等工事は川の流れに影響を及ぼす可能性があるため、情報を収集し、それらをバックグラウンドとして「底質の変化」について考察するべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 上流域の工事情報を収集し、底質の変化について考察いたします。</li> </ul>

以 上